

ヤマハボート

20

YAMAHA BOAT





ヤマハ カタマラン

モーターボートと言えば、単胴艇
というイメージを大きく破ったの
がヤマハ・カタマラン。

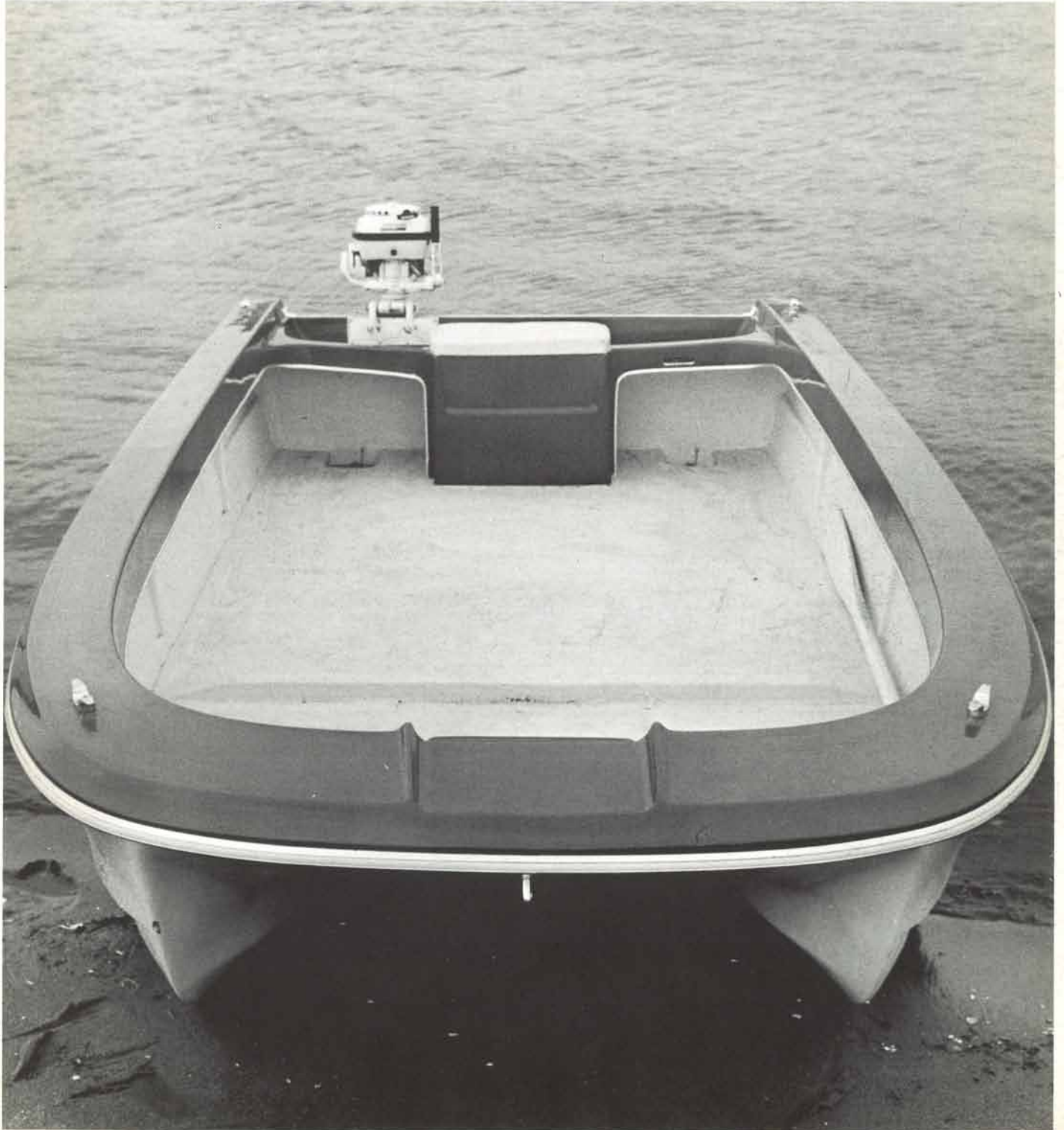
カタマラン（：丸太を結びつける
という土語が転じて：双胴船…）
と言えばヤマハ・ボートといえる
ような一時期を画した。

は、

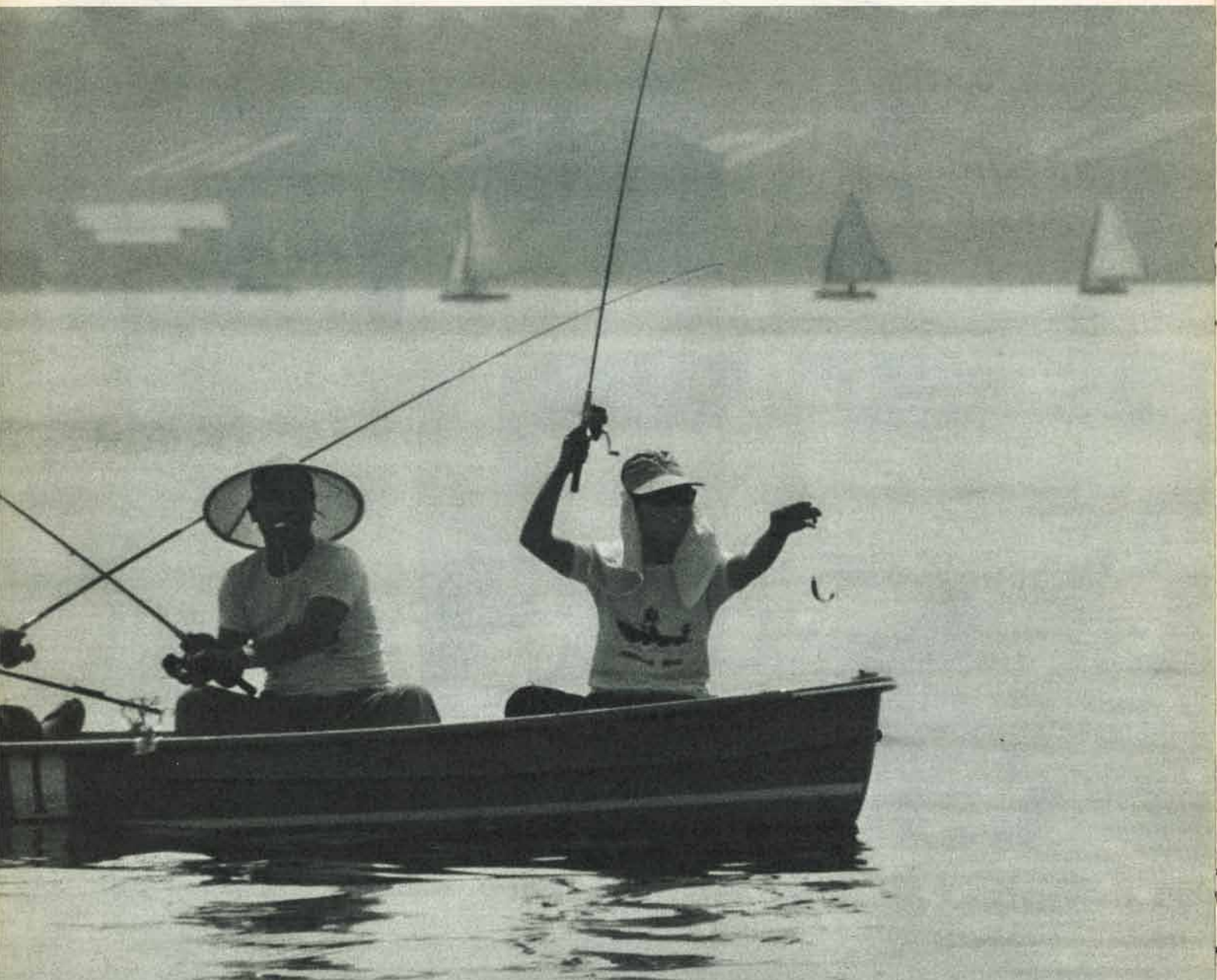
①艇長の割に巾広い操縦席、居住
性、作業面積を大きくとれること。
②静止時はモチロン、走行時にも
安定性がすぐれていること。

③走行時に船底中央部のトンネル
を流れる空気が、エアークッション
効果をもたらし、船底への波
の衝撃を柔らげる。

……等々の、すぐれた特性となっ
て、ボート・ファンを熱狂させた。



FISH—12 つり大会



ヤマハ発動機東京支店主催の「第一回ヤマハワイッシャーマン12・釣り大会」が七月十六日、神奈川県佐島マリナ沖で開催された。自動車の屋根にワイッシャーマン12を積んで、十数チームの釣り天狗たちが、早朝から会場に集まった。

食いがわるければ、ヤマハ船外機の機動力を発揮して、気軽につきのポイントをさがす。オカで釣糸をたらす人たちのうらやましそうな顔をしりめに、どんだん釣果をふやしていく会員たちだ。

やがて正午もすぎで、競技は終了。さつそく検量にうつる。

表彰式も、魚のバーベキューをバクつきながらという気安さ、釣られても釣れなくても、楽しい一日だった。

「フィッシャーマンとクルマがあれば、日本の海の魚は、すべてわがもの」ファイト満々の釣り師たちが、集まってくる。



「ボク、3倍釣って、優勝するんだ」受付でおそろいのシャツを受取る。



競技開始！われさきにと、ポイントを求めてとび出す。「そう急がなかったって、海は広いんだぜ」

「よっ、大物だ！なーんだ、ビニール袋か。オヤ？魚が2、3匹入ってるぜ」「まさか」



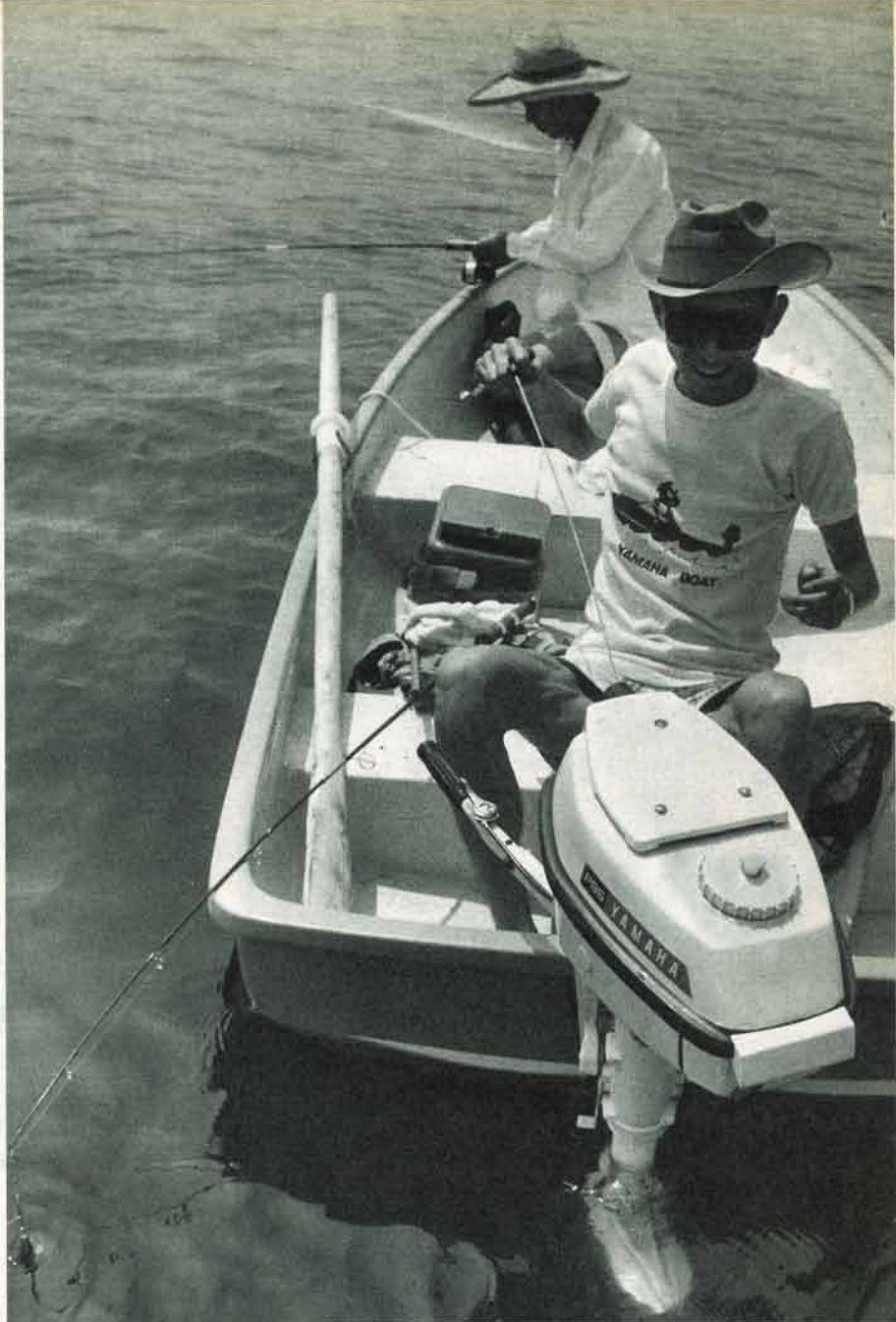
「さあ、つぎのポイントへ移ろうよ」「いったい、釣りにきたのかい、走りにきたのかい？」

勝



「148、149、150…。優勝確実かな」「オレだって、逃がした魚がなかったらなあ…」

みごと？小物賞を獲得。ニッコリしたとたんに、ヤジがとぶ。「海にメダカがいたっけ？」



水の遊び場 十和田湖



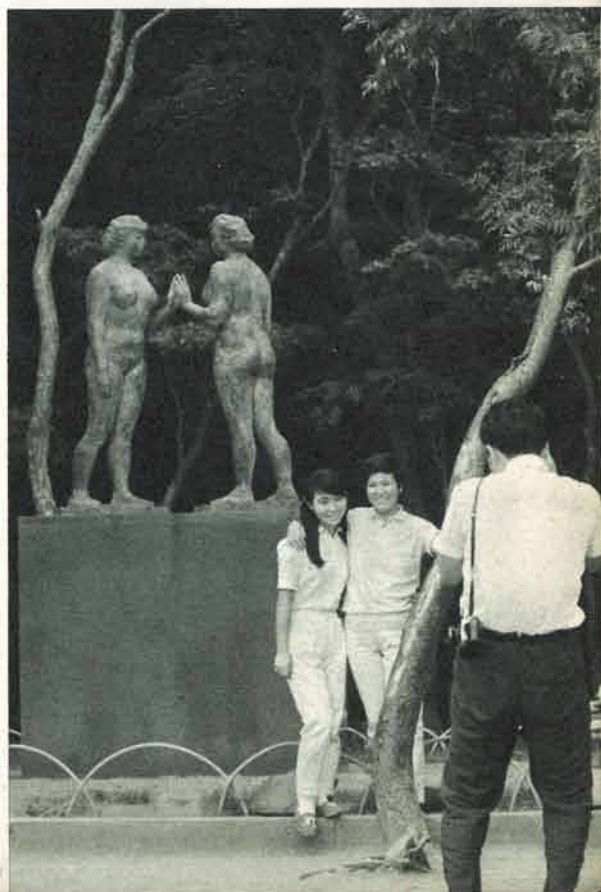
ヤマハボートは、すでに十和田湖の景色の一部になっている。ヤマハボートで、山の湖の美しさを、くまなくさぐることができる。

高村光太郎・作の「湖畔のおとめ」の前で記念撮影をするおとめたち。

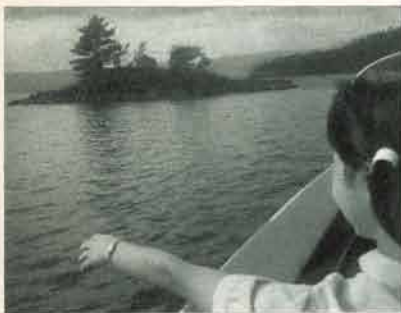
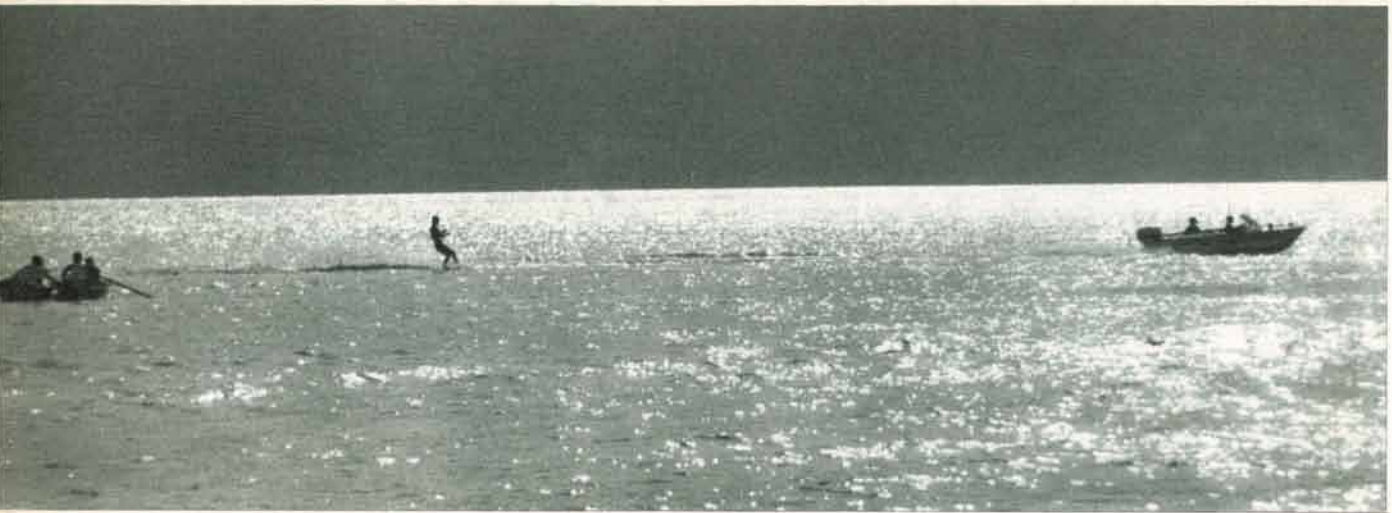
青森、秋田の県境にまたがる十和田湖は、山の湖らしい清澄さと、変化に富んだ景色をあわせ持っている。海拔四〇一メートルにある山上湖で、周囲四六キロ、面積五九・六平方キロ。もっとも深いところは三七八メートルもあり、田沢湖について、わが国第二位の深さである。紅葉が湖畔をうめる秋の十和田は、みちのくの情緒を代表する美しさを持っているが、濃緑一色の夏もすばらしく、とくにボートマンにとっては、この上もない爽やかなシーズンだ。

観光十和田の中心、休屋にある「十和田湖モーターボート有限会社」は、五月から十月ははじめにかけて、観光客で、非常ににぎわいをみせる。ボートで立体的に十和田湖を見せる観光案内と、貸ボートが、おもな仕事だ。ハイフレックス11が七はい、同14が一はい、15が二はい、ローボートが二三〇はい。九〇%までがヤマハである。十和田湖モーターボートが、ヤマハを使いはじめから六年。「保守が容易で、丈夫、浸水もない、軽くて取扱いがラク。そして、美しいスタイルが、お客さんにとっても受けますね」ヤマハボートは、観光客の間で、たいへん人気がある。

来年は、もっと大きな、二〇フィート以上のヤマハボートが、十和田湖にお目見得するかもしれない。



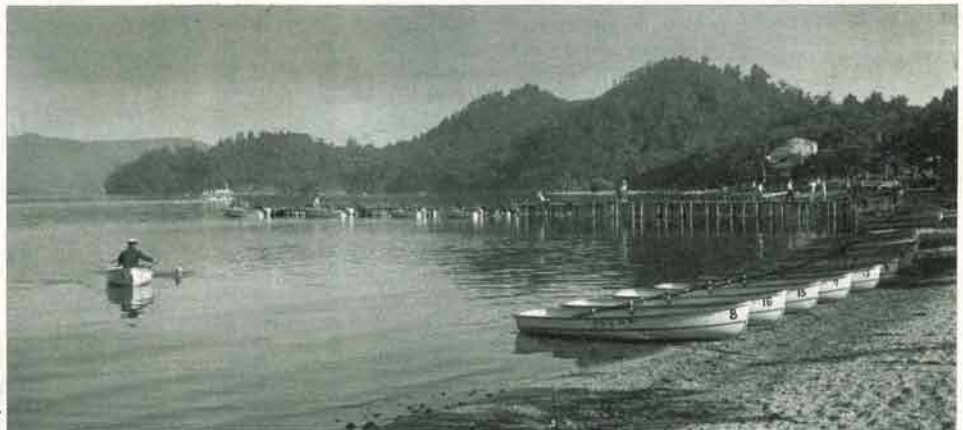
海のように広く、水面も静かな湖上は、水上スキーにも最適だ。



ロマンスを求める乙女、夏休みを利用して、みちのくを訪れる学生。だれの目にも美しい十和田湖の風景だ。



日曜日には 300 人をこえる利用者があ。ボーターボートハウスは、とくに若者たちに人気がある。



十和田音頭にある「ホンニソレソレ夢心地」の一日もおわり、やがて、美しい湖に別れを告げる。「さようなら……また来年……」

静かな水面にただようヤマハ・ローボート。これまでに、いく組のロマンスが、この湖上に生まれたか。

十和田湖は、家族づれのレジャーの場としても第一級の遊び場だ。青藍色の湖水を白いシブキで染めて、ヤマハは走る。



若くてカワイイサブちゃん

水上スキークラブ員にしたわれる
名古屋の増田三郎さん

オールド 訪問



昭和37年、ヤマハHIF11のオーナーになる。
現在はSTR18で、水のスポーツを楽しんで
いる増田さんだ。

愛知県名古屋市の「カワイイサブちゃん」こと、増田三郎氏(44)は、ボートファンや水上スキー愛好者の間では有名な存在である。トレーラーで愛艇ヤマハSTR18を引いて関西はおろか、関東のボートレースにも出場する。

水上スキーは、これまた得意中の得意。全日本選手権をはじめ、全国のおもな競技会にはほとんど出場するが、いつも選手の中では最年長者だ。

現在は名古屋水上スキークラブ会長のほか、木曾川河口の長島にあるスキースクールでコーチをつとめている。

スキークラブの会員は約四十人。増田さんは私費を投じて、クラブ員のトレーニングにはげんでいる。

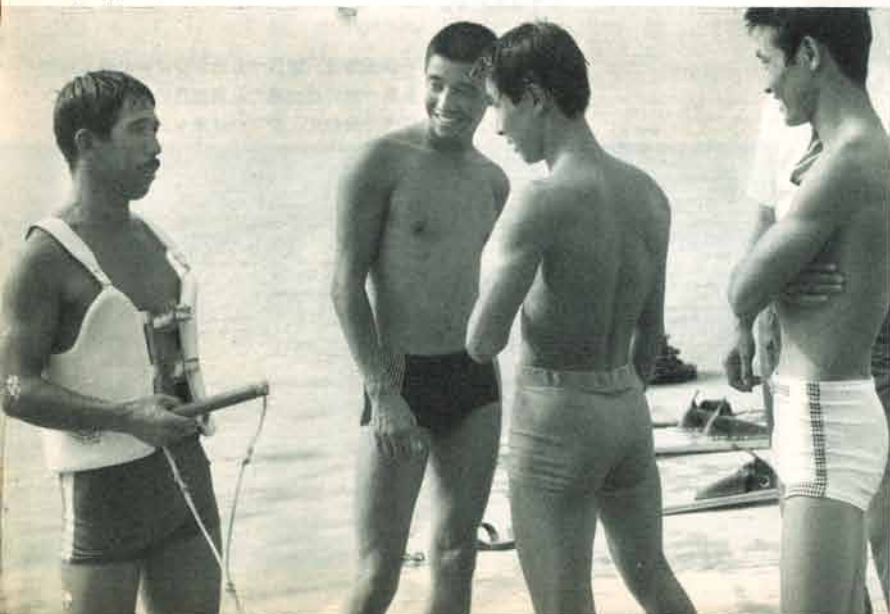
元海軍上等兵曹。潮岬防空隊に勤務し、陸からB29を迎撃する任務にあたったが、戦果はゼロ。

名古屋の名門、東邦商業を八年がかりで卒業。「同級生だけでも千人をこすよ」と笑う。若いころは相当な暴れん坊だった。

柳島運送株式会社、合資会社柳島運送店の取締役社長。約四十台のトラックを保有し、ステンレスの原材料の輸送を事業にしている。

増田さんはヤマハボートのファンで、将来は大型艇に乗りかえたいという希望をもっているとか。

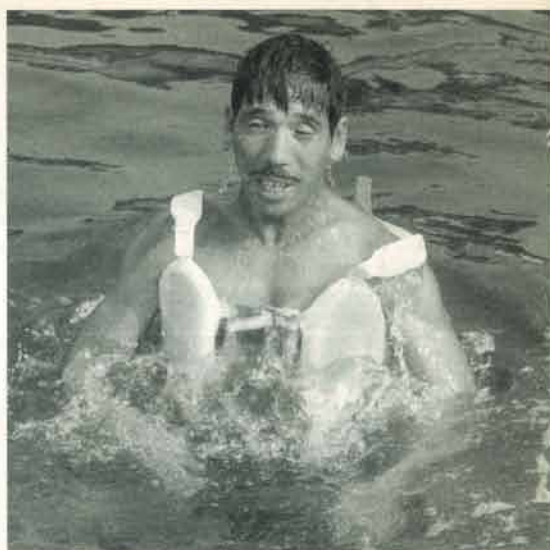
クラブの若い会員たちから「若くてカワイイサブちゃん」としたわれている。もともと、この愛称、自称が他称になったきらいはあるが…。



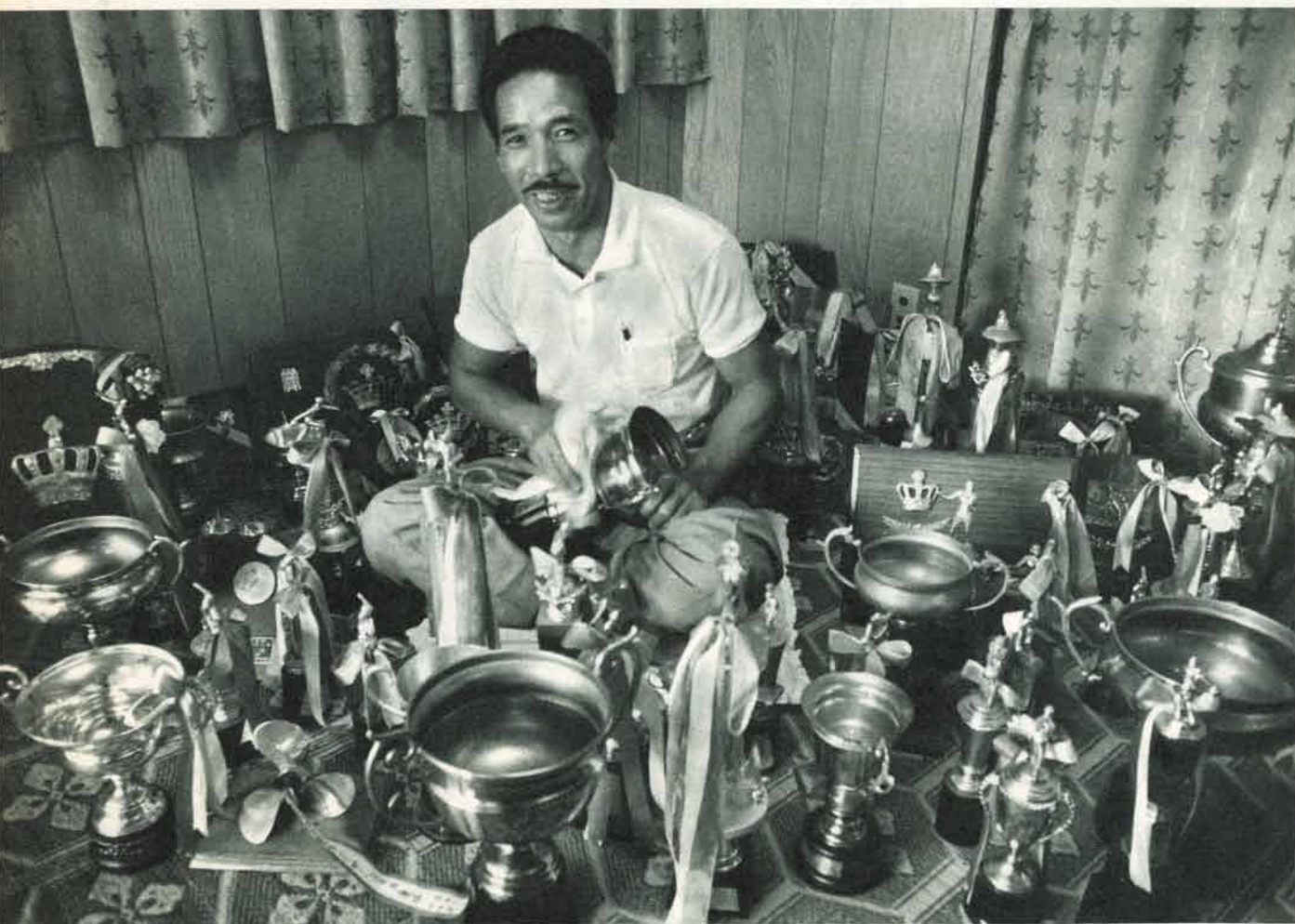
今年も全日本水上スキー選手権大会に出場。
選手を代表して、フェアプレイの宣誓をする。
優勝は逸したが、今回も最年長者賞を受ける。



弘法にも筆のあやまり。若さがあまって、張切りすぎた結果が、このポーズ



水上スキーの練習は、おもに西浦や長島でやる。この8月は、休んだのは2日間だけという精勤ぶりだ。



▲ごらんとおり、部屋一杯のカップや楯が増田さんが水のスポーツの振興に貢献した実績を物語っている。

◀基礎的トレーニングで体力づくり。ヒゲのよく似合う精悍な顔がひきしまる。

午前中は、銀行回わりや社内の見回りにと
いそがしい社長稼業。トラックの手配その他
の業務は奥さんに一任してあるので、午後は
海の上へとび出せる。だからというわけでは
ないが、奥様一途の愛妻家だ。



楽しい海の ピクニック バーベキュークルージング



沖へ出るにしたがって、波も高まり、クルージングの豪快さも増す。
東京湾横断中のヤマハ船団。



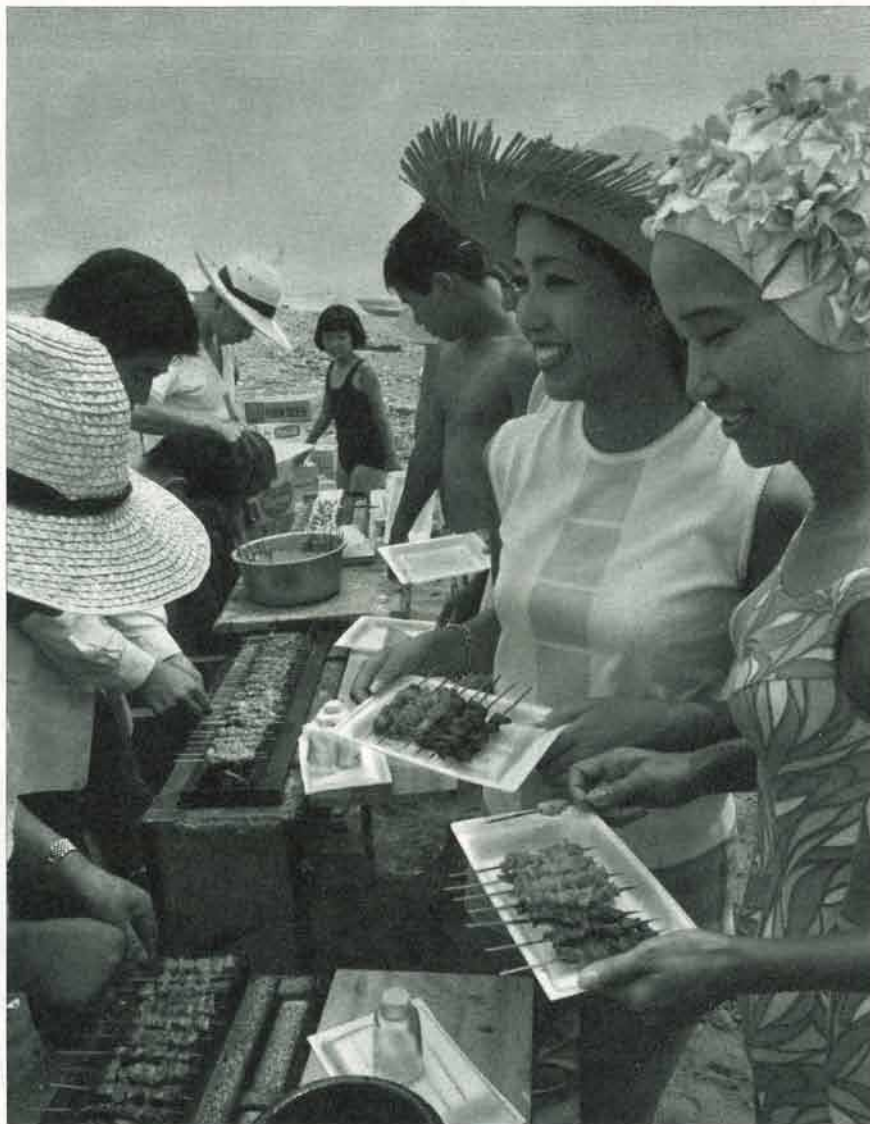
さあ上陸だ。バーベキューに向けて突撃!



焼き鳥をほおぼりながら、ボート談議に花が咲く。ここでは、ナマッ白い男はモテない。



自称剣道3段もスイカはニガ手。「はやく割ってノドがかわいちゃった」



海の男たち、海の女性たちは、食欲も健康そのもの。調理係りは大きいそがし。



「水上スキーは、はじめてなんだ。スキューパーのお嬢さん、あんまり見ないで!」

「真夏の太陽の下で、海のピクニックとバーベキューを大いに楽しもう」という欲ばった催しが、七月三十日、横浜の平野ボート主催で開かれた。この企画に参加したのは、約四十人のボート・マンとボート・ウーマンたち。二十隻のヤマハボートに分乗して、午前九時すぎ、横浜港を出発した。

目指すは、千葉県の富津岬と、そこで催されるバーベキュー大会。大中小、いずれのヤマハボートも快調な走りつづりをみせ、二時間たらずで東京湾を横断。水のきれいな富津岬に上陸する。

さつそく、ビールやジュースでノドをうるおしながら、鳥のバーベキューに舌つみをつ。青い空、新鮮な空気のもとでは、食欲も旺盛。すっかり満腹になった一行には、まだまだ楽しみが待っていた。

アベックで語り合うもの、水上スキーをたのしむもの、スイカ割りに興じるもの。なごやかに海の日をすごした。

海の魅力を満喫

館山クルージング



紺ペキの海に白い航跡を残して、威風堂々の
大行進。



つぎつぎと目的地に到着。「あの人のボート
は、まだかなア」

ジャパンモーターボート株式会社(東京・
中央区)主催の館山クルージングが九月二日、
三日の両日、多数の参加者によって、なごや
かに行なわれました。
二日、都内足立区のボートセンターに勢ぞ
ろいした一行は、ミーティングののち、ボ
ートをつらねて千葉県・館山海岸に向いました。
館山では、釣りや水泳、スキندайビング、
海辺の探勝などに打ち興じ、海の魅力を満喫
した二日間でした。



「さて、ひと走りしてくるか」釣りに、スキ
ンダイビングにと、とび出していく。



澄んだ空気の下、おお勢でたのしむ食事の味
は、またかく別。

ヤマハ・キャプテン

遊びとして、ある程度の大きさまでのモーターボートを走らせるには、今のところ、未だ免許は要りません。もつとも、同じ大きさのモーターボートでも営業用を使う時には、操縦者や時として機関士にも海技免許が必要。プレジューア・ボートに免許が要らないと言ふことは、ボートマンにとつて大きな魅力ですが、だからといって気を許してはいけません。

羅針盤が読めなくとも、海図が判らなくとも、手旗や信号法を御存知なくとも、水の上にも陸と同様の交通法規「海上衝突予防法」があること自体をチートモ知ラナクテモ、……とかく、

モーターボートを高速で走らせることが出来るのですからそれだけ皆さんの心がけが大切というものです。

……とは言つても、私はプレジューア・ボートに免許が必要だと言ふのではありません。ボーリングをするのにライセンスが要つたり、スキーにランク付がなされるのが、恐らくは無いように、プレジューア・ボートの世界も入門自在で何時までもあつて欲しいと思います。無暴なロッククライミングが山登りを規制させると言ふ声を呼ぶように、自分勝手な野放図なボートイングは、ひよつとして取締る方向に識者を駆りたてないとも限りません。そうした意味で、ヤマハ・ボートを走らせるには、先ず、水の怖しさを骨

身に泌みて感じたことがあり、何時も感じているような人であつて欲しいと思います。

水の上でものを言うのは、経験に裏打ちされた実力だけです。その経験も天狗になりたい程度の経験ならば有害有つて一理なし、見掛ではおとなしく人目には臆病に見えるような水夫の掌が、度重なるロープ・ハンドリングで深い傷をもっているのをかいまみた時のように、平穏な水面では冷静なレジヤーマネージャー、ことに臨んでは勇猛果敢率先率行してクルーの見惚れるような信頼と尊敬をかちえた時こそ、あなたの水の世界のライセンスを得たものと言へるでしょう。



免許はいらぬが...



つねに冷静たれ



ときには演技者たれ

モーターボートの釣り

水上スキーやアクアラングとは違って、季節的な制約のないモーターボートの遊び、その筆頭はボート釣りでしょう。最近の傾向では、釣り熱が昂じてボートを求めるファンもかなり増えています。ヤマハ・フィッシュ12とP-95船外機はボート釣りに最適なモーターボートです。

ボートを使った釣りには、ボートをイカリで止めたり、潮に流したりしながら釣るボート釣り、ボートを走らせながら釣るボート釣りと、二通りの楽しみかたがありますが、ヤマハ・フィッシュ12とP-95船外機のコンビはどちらにも使えます。

ボート釣りのポイントには、陸釣りでは針が届かず、しかも釣り舟では近寄れないような浅場にあります。誰にも気がねをせず、自分ひとりで存分釣りを楽しめる自由さが特長。今迄は船頭さんまかせだったヤマを立てる楽しみがあります。釣れる魚はアイナメ、シロギス、カレイ、ハゼ、ベラ、ウミタナコ、イダコ、メゴチ、コチ、アジ、サバ等々... トロリングは一見無精な釣りです。もつともバショウカジキなどがヒョットとつかつたら、ボートごとアナタが釣られてしまう結果となりかねません。軽量級のフック、ソーダガツオ、イナダ、シイラ等、リールを使うならベンリールの1-3号、ミチイトにナイロンの16-20号を一五〇-三〇〇メートル、小型の引き板を使う方法もあります。



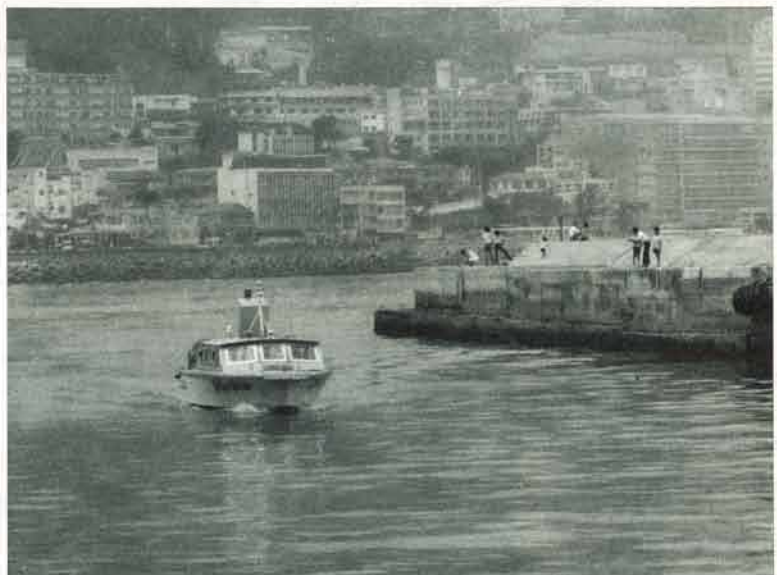
熱海—初島を十五分 ヤマハ快速遊覧船



熱海—初島間を15分で走るヤマハFRP製快速遊覧船が評判を呼んでいます。

“サン・バード号”と名付けられた、この快速艇は、富士急興業の特別注文でつくられたヤマハSTR-26クルーザーで、F・R・Pの特性である、美しく丈夫で軽いことが業界でも注目されています。

目的地に早く着き、しかもクルージングの気分も味わえるとあって、この快速艇は、たいへんな人気です。



写真上・初島は、温泉熱海から東南へ約10キロの洋上にある。定期遊覧船だと40分かかるところを、わずか15分で走る快速艇。

写真下・山の上まで、ギッシリとホテルや旅館でうずまった熱海の温泉街をあとにすれば、間もなく、ガラリと変わった景色が待っている。

ボートを何時までも

船外機診断 その一

良く整備された船外機ならメッタに故障は起こしませんが、水の上でモーターボートのエンジンがフット止まったら……海は静かだなあ、なんて感傷に耽けついている余裕はありません。とにかくエンジンをもう一度回さなくては……。

故障の原因は千差万別、……なんだこんなことか……と、大笑いするような故障だって数多く起こります。落着いて船外機の前にドッカーリ座って、点検してみましよう。

電気系統の断線か不良



停電、大わらわ

燃料がきれ



船外機でも空度はこたえる……燃料を補給する

プロペラに何かかかった



浮遊物を除去

燃料系統がつまる



レッカー車の出動……つまりを通す

ピストリングやクランクシャフトが焼付く



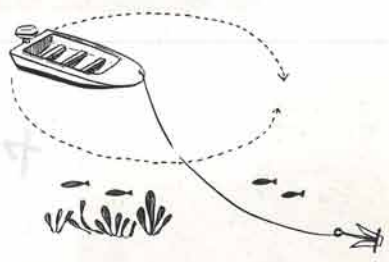
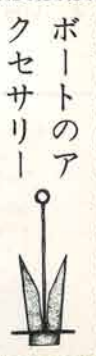
オイルで濡らさず……オイルがなければ手濡さず……

プラグが不良



首のスゲ替え……新品と交換

ボートのブレーキ(錨)



モーターボートにはブレーキはありません。水上でボートを止めるものは、それが錨です。錨は海の生活のシンボルとして徽章その他に良く使われていますが、錨こそ水の生活の安全弁ともいえるでしょう。

ボートの長さや錨の重さには一応の目安があります。全長四メートル位で六キログラム、七メートルで十八キロ程度、錨の利きは重さだけではありません。いろいろな型の錨がありますが、プレジューア・ボートにはダンフォース型が適当でしょう。

ボートを止める(錨泊法)

海図の水深はほぼ最低低潮面を示しています。投錨する際の水深はそれプラス、現在の潮高。海図には又、海底の性質を示す記号もふつてあります。M(泥)、S(砂)、G(礫)、Sh(貝ガラ)、R(岩)、St(石)等々、岩場は錨の利が悪かったり、抜錨する際に岩にひつかつて錨がとれなくなったりするので、まず避けて下さい。

錨には錨づなを結び、錨づなの端はボートに止めてから投錨して下さい。毎シーズン、かなりのボートが錨を海にすてているのが現状です。水深と錨づなの長さは、ごく平穏な時が水深の三倍、時化しているような時は十倍程度まで、海の状態によって変化させます。

全日本水上スキー 選手権大会ひらく

ヤマハ
ボート
トピックス



はなやかなエキジビション。

秩父宮妃賜杯をめぐって技を競う、全日本水上スキー選手権大会が、9月9日、10日の2日間にわたって、新設浜名湖競艇場で開催されました。

日本水上スキー連盟、日本モーターボート協会の主催で、毎年開かれているもので、今年は13回目に当たります。

全国から選ばれた選手たちが、スラロームに、トリックに、ジャンプにと、妙技を競い、湖畔をうずめた観衆の喝采を浴びました。



ジャンプで優勝したヤマハクラブの村木昭司選手。

ヤマハ水上スキー教室でみるみる上達の原良子さん

テレビ映画「鞍馬天狗」(毎日放送・NETテレビ)で女スリ、暗闇のお兼に扮して活躍している原良さんが、水上スキーの魅力にとりつかれ、ヤマハ水上スキー教室で熱心に練習をはじめました。

水上スキーはこれで4度目(7月19日)ですが、正式に習ったのは今度がはじめて。

3年前、宮城千賀子さんに誘われてはじめてましたが、ゲレンデスキーとはまた違った爽快感があると、いっています。



ヤマハSTR-18が 鹿児島湾に おめみえ

ヤマハストライプ18が、鹿児島湾にお目見得して、話題になっています。

オーナーは、キャバレーやクラブなど、レジャー施設を経営するスターライト商事です。真白な船体に描かれた“Star Light”の文字が、桜島を背景にクッキリと浮かび上り、大きな宣伝効果をあげています。

ニューカラーで勢ぞろい

軽い 強い さびない

ヤマハ船外機



3馬力から、6馬力まで4機種のヤマハ船外機が新たなデザインでお目見得しました。

カラーはすべて、明るいクリーム色、真赤に浮き出したエンブレムがひとときわあざやかです。エンジンもチカラ、耐久性ともに抜群。今年も125ccクラスで世界チャンピオンになった実力が十分に生かされています。

P-125A

世界唯一灯油切替式もある6馬力船外機



- ◎世界唯一の機構 灯油が使えます(K型)
- ◎別タンク式で遠出しても心配ありません
- ◎完全防音のカバー付です
- 総排気量 123cc
- 最大出力 6.0ps
- 燃費 1.6ℓ/h
- 重量 28kg
- クラッチ 前進 中立 後進

P-55A

バックギヤ付の強力型5.8馬力船外機です



- ◎このクラスでは唯一の後進ギヤ付です
- ◎エンジンの力強さは抜群です。
- ◎エンジンが自動的に傾斜して障害物を行きすぎします。
- 総排気量 123cc
- 最大出力 5.8ps
- 燃費 1.6ℓ/h
- 重量 26kg

P-95

親切な設計で使いやすい抜群の4馬力



- ◎ドッグクラッチで運転が楽です
- ◎手持ちハンドル付で持運びが楽です
- ◎プロペラは海草のつかないタイプです
- 総排気量 92cc
- 最大出力 4.0ps
- 燃費 1.2ℓ/h
- 重量 20kg
- 前後進 ハンドル180°回転式

P-35

初心者にもすぐ扱える世界一軽い船外機



- ◎どなたでもすぐ運転できます
- ◎重さは15kg 簡単にはこべます
- ◎小型艇には最適です
- 総排気量 63cc
- 最大出力 3.0ps
- 燃費 1.1ℓ/h
- 重量 15kg
- 前後進 ハンドル180°回転式



ヤマハボートNO. 20 昭和42年10月25日発行
 発行所＝ヤマハ発動機株式会社(静岡県浜北市中条)
 発行人＝小池久雄／印刷所＝(株)恒陽社印刷所



ヤマハ発動機株式会社

- | | |
|-------|--|
| 本 社 | 静岡県浜北市中条 05358-4111(代) |
| 北海道支店 | 札幌市北大通 8 丁目 足田ビル 0122-24-3247-9 |
| 仙台支店 | 仙台市東 4 番町54 仙台運送ビル内 0222-22-4141(代) |
| 東京支店 | 東京都中央区日本橋小伝馬町 3-2 03-662-3731(代) |
| 名古屋支店 | 名古屋市区北通 2 丁目34 052-911-2171(代) |
| 大阪支店 | 大阪市西区北堀江通り 4-27 06-541-4331(代) |
| 四国支店 | 高松市田町11番地 3 竜菱ビル 2-2 0878-31-1661(代) |
| 広島支店 | 広島市皆実町 1 丁目 8 番地 21号 0822-51-5771-1888 |
| 九州支店 | 福岡市比恵新町26 092-64-3606(代) |

—ヤマハボート取扱店—

